壇の岡

１２月２２日（金）　第３２号
発行責任者
鮫川中学校長　角田敏文

二学期を終えて
―部活動編―

《失敗の考え方》

○失敗を成功につなげる選手は一流。

○責任を転換して失敗を繰り返すのは二流。

○三流は自分が失敗した事すら気づかない。

《失敗を活かす人間と失敗でだめになる人間の二通り》

○失敗とは成功の前であきらめてしまう人。

○成功の反対は失敗ではなく何もしないこと。

○何度も失敗して、その中からどれだけの事を学び活かすか。

○反省は過去にするものではなく未来に向かって行うもの

○失敗には原因がある。その原因は成功へのヒントである。

《失敗する人は　失敗する心構えがある》

○ファクターを意識しない。

○なぜ成功したか、なぜ失敗したかを考えない。

○プレーする前から失敗するのではないかと結果ばかり考えて、成功するためのプロセスを重視しない。

○できない理由や言い訳ばかりでやる方法を考えない。

『賢者は他人の失敗から学び、愚者は自分の失敗から学ぶ。』いい結果も悪い結果も、必ず原因があります。失敗した原因を他人のせいと考えるか、自分のせいと考えるか。大切なのは、失敗したときに「今の自分には夢を実現する力がない」と認識し、原因を分析して、軌道修正することです。失敗してもうだめだと落ちこむことは無意味です。失敗は学びの機会です。人のミスは自分への教えです。自分の置かれた状況を変えるのではなく、状況を変えるために自分を変えることが重要です。

参考文献
（野球バカは野球でしか　ビジネスを考えられない）

1月の行事予定

9日（火）第3学期始業式
職員会議・部活動中止
10日（水）**3年実力テスト**
11日（木）広報委員編集会議
12日（金）**スペリングコンテスト**
17日（水）**3定期テスト**
18日（木）**3定期テスト**
1・2年標準学力検査
19日（金）英語検定
26日（金）思春期保健講座（1年）

人間の最大の悪とは何か。それは鈍感である

一流になる人間は、例外なく「感じる力」に優れています。凡人なら見逃してしまうような小さな変化、差異に気づくからこそ、人より秀でることができます。「感動」とは「感じて動く」と書くように、感じることが行動を生み出すのです。

ところが、教えられることに慣れてしまうと、「教えてくれるのが当然」と考えるようになり、感じる力は確実に鈍くなります。感じる力が鈍ければ、自ら考え、能動的に行動することもなくなります。依頼心は感性と思考能力を著しく衰えさせます。当然、進歩も止まってしまいます。

「馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない」という諺があるように、**本人に「なんとかしたい」という意識が芽生えないかぎり、周りがいくら教えても身につくものではないのです。**とすれば、指導者が第一にすべきことは何か。選手自らが「気づく」ように仕向けることです。

【参考文献】
リーダー論　覚悟をもって道を示せ　野村克也

週の行事予定

8	9	10	11	12
月	火	水	木	金
成人の日	第3学期始業式 職員会議・部活動中止	**3年実力テスト** NO部活動デー	広報委員第1回編集会議 （18時）	**スペリングコンテスト**

生徒のみなさんへ

スタートが大切です。特に宿題については、**必ず始業時に提出**するという決意を持って、計画的に行いましょう。

この一年、保護者の皆様には学校運営に対し多大なご支援とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

本号で今年の学校だよりは終了となります。お世話になりました。

もうすぐ二〇二三年が終わります。良いお年をお迎えください。

教育目標

学ぶ心　よく学び自己を高める生徒
美しい心　心豊かで思いやりがある生徒
強い心　心身を鍛えたくましい生徒

こちらから各学年だより等がスマートフォンからもご覧できます。